

高円寺駅北口地域における取組について

高円寺駅北口地域における防災性の向上とまちの魅力の維持に向けた取組について、以下のとおり報告します。

1 取組の背景

高円寺駅北口地域は、木造住宅や狭あい道路が多く、防災性の向上が課題である一方、商店街や文化活動など、地域ならではの魅力を有している。また、補助第227号線の一部区間は、令和8年3月策定の「東京における都市計画道路の整備方針」で、引き続き優先整備路線に位置付けられた。

区では、こうした状況を踏まえ、コロナ禍以降途絶えていた地域との意見交換の場を再開し、来年度からの本格的な取組につなげることにした。その第一歩として、関係部署が連携し、地域の現状や区の取組を住民と共有する「高円寺地域の取組・課題共有会」を開催した。

2 高円寺地域の取組・課題共有会

日時 令和8年7月24日（金）午後2時～4時

会場 座・高円寺 地下2階 阿波踊りホール

参加者 町会長8名、商店会長等6名、区関係部署職員

目的 区の取組と地域の課題を共有し、高円寺駅北口地域での今後の取組を検討するための第一歩とすること

（1）実施内容

区から、防災、都市計画道路、耐震・不燃化、狭あい道路及び産業振興に関する取組を説明した後、各グループに分かれ、地域の現状、防災とまちの魅力、地域の中で大切にすべき視点について意見交換を行った。なお、共有会は、特定の事業の是非について結論を出す場ではなく、地域の現状や課題などを共有する場として実施した。

（2）主な意見

- ・駅北側には東西方向の幅員の広い道路や、消防車が通行できる道路が少ない。
- ・感震ブレーカーの無料設置など、区の取組が十分に知られていない。防災意識の啓発が必要である。
- ・空き家を防災倉庫等に活用することも考えられるが、地域だけで防犯・防災対策に対応することは難しい。
- ・商店街と住宅地との連携や人と人とのつながりが大切である。
- ・文化的なアイデアを地域に呼び込み、若い世代が商売を体験できる機会を増やしたい。
- ・補助第227号線の位置や延伸の考え方に関する意見があった。

3 今後の取組

共有会で寄せられた意見を区と住民、関係部署間で共有し、今後の防災性の向上とまちの魅力の維持に向けた取組の参考とする。また、地域の課題や高円寺の魅力、将来への期待や不安などをより幅広く把握するため、今年度内にアンケート調査を実施する。

実施に当たっては、地域の関係者等が参加するアンケート調査設計会議を開催し、目的を共有した上で、設問内容、対象者及び実施方法等を検討する。

なお、年度末には第2回の取組・課題共有会を開催し、来年度以降の進め方等を共有する予定。